

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> 社会福祉学特別研究Ⅱ	担当教員	単位数	配当学年
	竹之内 章代	8単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR(演習)	

■事前を受講してほしい講義等

社会福祉学特別研究Ⅰ、児童・家庭福祉演習

■授業のテーマ

学位論文の作成

■授業の目的

修士論文を作成するための研究方法や論文作成能力を獲得することができる。

■授業の到達目標

- ・ 論文作成のための研究方法を理解するための知識と方法を習得する。
- ・ 論文作成のための論文作成の形式を理解し、実際の作成できる。
- ・ 自らの研究課題を明確にし、論文という形で伝達できる。
- ・ ソーシャルワークの研究としての論文作成ができる。

■授業の概要(内容)

対象となる研究分野は、「子ども」「子ども家庭」「女性」を中心とした子ども家庭福祉の領域である。

社会福祉の研究としての視座とは何かを踏まえ、自らの研究テーマの抽出、先行研究のレビュー、論文執筆の形式の理解、研究方法の理解をした上で、修士論文を作成する。

■授業の方法

個別指導

■授業時間外学修(予習・復習等)

予習：自らの研究計画を作成し、それにそった提出物の作成

復習：指導内容を吟味し、論文作成を行うこと

■評価の方法・基準(評価割合)

特別研究への取り組み10%、構想レジュメおよび中間レジュメ30%、論文執筆中の経過として2回のレジュメ10%、作成された論文50%

■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導を受けること。3回のレジュメ(構想レジュメ・第1回中間レジュメ・第2回中間レジュメ)提出が必須。

■論文作成の流れとポイント（テーマ・内容等）

	ポイント
1	研究とは何か これまで提出してきたレポートと研究論文の違いを理解すること
2	研究テーマを設定するために 研究テーマを明確にするための問いをたてる
3	先行研究のレビュー 1 研究テーマに沿って、文献をどのように探すかを知る
4	先行研究のレビュー 2 テーマに沿った文献を収集する
5	先行研究のレビュー 3 文献と精読し、自らの研究課題を明確化する
6	研究テーマの設定 1 「問い」に対する「こたえ」として仮説を考える
7	研究テーマの設定 2 研究テーマの確定をする
8	研究方法の設定 1 事例研究の方法
9	研究方法の設定 2 調査研究の方法（企画から調査票の作成まで） 1
10	研究方法の設定 3 調査研究の方法（調査の実施と集計、分析） 2
11	研究方法の設定 4 インタビュー調査の方法
12	研究方法の設定 5 その他質的研究法
13	研究計画書の作成 1 これまで学んだことをふまえて、研究計画書の作成を行う
14	研究計画書作成 2 具体的なスケジュールを立て、研究の道筋を明らかにする
15	面接指導 1 提出された研究計画書をふまえ、個別指導を行う
16	研究計画書の修正 1 個別指導の内容をふまえ、研究計画書の修正版の作成を行う
17	研究の実施 1 仮説の検証のために各自の選定した研究方法に合わせて、データの収集を行う
18	研究の実施 2 収集したデータを整理する。その際どのような方法で整理するのかを吟味し選定する
19	研究の実施 3 データの分析
20	中間報告の作成 現在の研究の推進状況について報告を作成し、提出する
21	個別指導の実施 中間報告を受け、個別指導を行う
22	論文の作成 1 研究の背景について執筆する
23	論文の作成 2 研究目的及び研究方法の執筆

ポイント	
24	論文の作成 3 結果の執筆
25	論文の作成 4 考察の執筆
26	面接指導 2 これまでの執筆内容を精査し、指導を行う
27	論文の修正 面接指導での内容をふまえ、修正を行う
28	論文の作成 5 図表や引用文献、参考文献などの体裁を整える
29	論文の推敲
30	最終指導および論文の提出

■教科書・テキスト

必要に応じ指示する。

■参考書・参考資料・参考 URL 等

岩田正美ほか編「社会福祉研究法」有斐閣、2006年
その他適宜指示する。